

# 大崎地域を世界農業遺産へ vol.18

大崎耕土の豊かさを語る③

## 農業基盤として、わが国を代表する大崎耕土

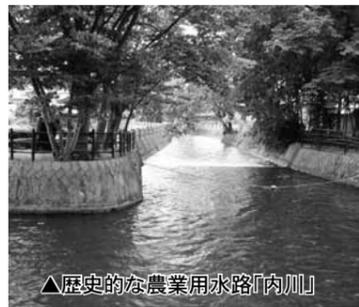


宮城大学 名誉教授  
加藤 徹 さん

大崎耕土は室町時代に斯波氏の一族であった大崎氏が支配し(斯波家兼から13代大崎義隆までの約240年)、その基盤を作ってきました。その後、伊達政宗公が岩出山城入城と同時に、岩出山大堰と城の外濠を兼ねた内川(農業用の主要水路)の整備を手始めに、その後も新田開発(新たな堰や水路の整備を含む)を推進し、現在まで継承されている広大な大崎耕土が藩政時代に形成されました。

明治後期から昭和前期にかけて、大崎耕土では、洪水や冷害の克服と、農業生産の向上を目指して耕地整理事業が積極的に展開されました。当時、宮城県はわが国第1位の事業実績を誇りましたが、その中心が大崎耕土でした。その農業基盤の上に、かつては「コシヒカリ」とともに良食味のブランド米と称された「ササニシキ」や「ひとめぼれ」が生まれてきました。

現在も、農業用水は堰(頭首工)からの自然取水が大半で、用水路には水田に水がない時期にも水が流れ、生態系や景観の保全などにも役立ち、水田の持つ二次的自然が理想的に維持されています。したがって、この歴史ある広大な大崎耕土は水田稲作の農業基盤としては現在も全国トップ水準にあります。



△歴史的な農業用水路「内川」

※大堰(内川)は平成18年2月に国の「疏水百選」に、内川は平成28年11月に「世界かんがい施設遺産」に認定されました。



【問い合わせ先】産業政策課  
世界農業遺産推進室  
☎ 23-2281  
sangyo@city.osakimiyagi.jp

## 世界農業遺産勉強会(第9回)

日時: 1月28日(土)

13時30分~15時30分

場所: 岩出山総合支所  
大会議室

内容: 「やませ」と冷害  
対応技術 ほか

講師: 鳥越洋一 氏(元  
日本大学教授) ほか

定員: 30人

申込: 1月25日(水)まで、  
産業政策課世界農業遺産  
推進室へ、電話かメール  
で申し込み

## 12月1日現在の大崎市の人口 (単位: 人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,102	+ 31	39,710	+ 16	77,812	+ 47	30,671
松山	3,041	0	3,201	- 4	6,242	- 4	2,193
三本木	4,010	- 10	4,056	- 6	8,066	- 16	2,695
鹿島台	5,866	+ 9	6,267	- 4	12,133	+ 5	4,522
岩出山	5,496	- 18	5,789	- 7	11,285	- 25	4,231
鳴子温泉	3,039	- 6	3,414	+ 1	6,453	- 5	2,809
田尻	5,588	- 5	5,740	- 18	11,328	- 23	3,594
市全体	65,142	+ 1	68,177	- 22	133,319	- 21	50,715

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

## 今月の納税

納期限: 1月31日(火)

□ 軽自動車税	—
□ 固定資産税・都市計画税	—
☑ 市県民税	第4期
☑ 国民健康保険税	第9期
☑ 介護保険料	第9期
☑ 後期高齢者医療保険料	第7期
□ 個人事業税	—

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

## 火災発生件数

(11月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	35 件	+ 13
林野火災	2 件	+ 2
車両火災	5 件	- 2
その他火災	14 件	- 2
合計	56 件	+ 11

## 空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

測定日時	地表面から1m	地表面から0.5m
12月12日測定		
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.04	0.04
三本木総合支所	0.07	0.08
鹿島台総合支所	0.05	0.04
岩出山総合支所	0.06	0.05
鳴子総合支所	0.06	0.05
田尻総合支所	0.05	0.06

## 交通死亡事故件数

(12月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	2 件	- 3
死亡者数	2 人	- 3

☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

## 1月号の主な内容

- ② 新年のあいさつ
- ⑤ 大崎地域を世界農業遺産へVol.18 ほか
- ⑥ 祝 市内2つの施設がレガシー(遺産)に!  
選奨土木遺産に認定「鳴子ダム」  
世界かんがい施設遺産に登録「内川」
- ⑧ 税の申告 所得税と市県民税の申告相談を受け付けます
- ⑫ 十年物語 ~おおさき人の軌跡~  
大崎市消防団団長 佐藤 技さん  
三本木交通安全ボランティア代表 佐藤 俊一さん
- ⑬ 大崎市が進める地方創生③  
地域おこし協力隊
- ⑭ 市政トピックス 12月の主な出来事
- ⑮ 地域発! お・ら・ほ・の・ま・ち
- ⑯ オオサキプレイガイド
- ⑰ 小・中学生平和作文コンクール入賞作品 ほか
- ⑳ 今月のお知らせ
- ㉑ 子育て支援情報
- ㉒ 育児相談・乳幼児健診
- ㉓ 休日当番医 ほか

## ピタ崎さんの 観光ひとくちメモ

その6  
トランスイート  
四季島が  
やってくる!



☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

## 正しい情報に基づいた行動を【高病原性鳥インフルエンザウイルスについて】

平成28年12月13日現在、県内2つの自治体で、死亡した野鳥から「高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)」が確認されました。

鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察などの通常の接し方では人に感染しないと考えられています。

正しい情報に基づいた行動をお願いします。

### 野鳥との接し方

▶ 日常生活の中で、野鳥など野生動物のふんなどに触れた場合、手洗いとうがいを行えば、過度に心配する必要はありません。

▶ 野鳥のふんが靴の裏や車両に付くことで、ウイルスを他の地域へ運ぶ恐れがありますので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に靴でふんを踏まないよう十分注意し、必要に応じて消毒を行ってください。

▶ 野鳥を不必要に追い立てたり、捕まえたりすることは避けてください。

### 死亡した野鳥を発見した場合

死亡した野鳥など野生動物には、素手で触らないでください。死亡した野鳥を確認したら、次のいずれかへ連絡をお願いします。

産業政策課自然共生推進係 ☎ 23-2281

農林振興課林政係 ☎ 23-7090

### 野鳥に関する鳥インフルエンザ窓口

宮城県北部地方振興事務所林業振興部 ☎ 91-0765

### 高病原性鳥インフルエンザに関する詳細

高病原性鳥インフルエンザに関する詳しい情報は、環境省のウェブサイトから確認できます。

環境省ウェブサイト

http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\_flu/index.html



## 今月の表紙

12月14日、三本木子育て支援総合施設 ひまわり園で、もちつきが行われました。核家族化や生活様式の多様化によって、失われつつある日本の伝統文化を子どもたちに知ってもらうため、毎年、開催されています。

この日は、助っ人として駆けつけてくれたお父さんたちに支えてもらいながら、4歳から5歳の子どもたちが、臼と杵でもちをつきました。杵でつくたびに「よいしょ! よいしょ!」と子どもたちの元気なかけ声が建物中に響き渡りました。

つきあがったもちは、あんこ、きなこ、納豆、雑煮の4種類に味付けされて、この日の昼食になりました。自分たちでつくったもちの味は格別だったようで、おかわりをする子がたくさんいました。



今年の5月からJR東日本が運行する、話題の最高級リゾート列車「トランスイート四季島」。この列車の「2泊3日コース/冬」と、8月16日から18日に運行される「東日本の旬コース」の停車地に、鳴子温泉が選ばれたぞ!  
これは、大崎市民にとつて大きな誇りだし、鳴子温泉郷をはじめとする大崎市の魅力を全国の人に伝え、知名度をアップする絶好のチャンスだね。

市では、四季島を利用するお客様に、豊かで良質な旅のひとつを過ごしてもらうために、「仮」トランスイート四季島受入実行委員会」を立ち上げて、市民と一丸となって、歓迎ムードを盛り上げていくし、四季島車内で提供されるサービスタ、地元食材や伝統工芸品など、さまざまな大崎市の宝を使ってもらえるようにPRしていくんだって。

かっこいい車両を間近で見られるのも楽しみだな。